

report
1「金屋町楽市 in さまのこ」開催
テーマは「花鳥風月・技」

高岡鋳物発祥の地、金屋町全域を使って行う文化拠点再整備事業「金屋町楽市 in さまのこ」が、9月18日・19日に開催された。「花鳥風月・技」をテーマに、日本人が育んできた感性を、金屋町の住まいの特徴である千本格子の中に表現したという。楽市オリジナルのアルミブロックに、一流作家の工芸作品から一般公募のものまで展示・販売。前回から「金屋町楽市賞」を設け、優れた作品を表彰している。また、シンポジウムや分科会、楽市塾など多彩なイベントが開催され、ゾーンミュージアムの楽しさを盛り上げた。

3回目を迎え、金屋町と富山大学、行政などが協働する事業として毎回新たな試みを加え、進化しつづけている。



[問] 高岡市商業観光課 TEL.0766-20-1591
ホームページ <http://www.kanaya-rakuichi.jp/>

report
2金屋町金属工芸工房
「かんか」オープン

9月12日、金工作品を中心に制作実演と展示販売を行う工房が金屋町にオープンした。

「かんか」とは、坩堝（くつぽ）のことで、金属が溶け合うように、さまざまな人たちが集い、新しいものを創造する空間にしたいとの思いがこめられている。

若手金工作家11名がメンバーとなり、制作に取り組み、ギャラリースペースに作品を展示。芸文ギャラリーとの共同企画「作家のひきだし展」など、新しい試みにも挑戦しており、



今後の活躍が期待される。開館は、毎週金、土、日、月の10時から18時。

展示作品を見る高橋高岡市長（中央）と、重要無形文化財保持者（人間国宝）の大澤光民氏（左）。

[問] 金屋町金属工芸工房かんか TEL.0766-25-8550
高岡市金屋町5-15（旧 高岡映画資料館）
ホームページ <http://kanaya-kanka.cocolog-nifty.com/>

report
3クラフトショップ「D.front」が
小田急新宿店に“旅した”

高岡ゆかりの作家を中心に、ハンドメイドの作品を展示販売している高岡クラフトショップ「D.front」が、10月27日から11月9日まで、小田急百貨店新宿店に出展した。

タイトルは、「旅する雑貨フェア-from D.front in TAKAOKA」。働く女性のONとOFFを彩るアクセサリ、バッグ、名刺入れ、器など、さまざまなジャンルの作家・メーカー36組、約800点の雑貨が、東京の旅を楽しんだ。

会場には、連日多くのお客さんが訪れ、売れ行きも好調。クオリティの高さや、作家のセンスなど、ものづくりのまち高岡の魅力を発信した2週間となった。



[問] D.front（高岡地域地場産センター 御旅屋店） TEL.0766-22-2111
高岡市御旅屋15 営業時間／10:00-19:00（水曜定休）
ホームページ <http://www.d-front.jp>

report
4新たな2つの審査基準を設定
「2010高岡クラフトコンペ」

24回目を迎えたクラフトコンペは、創造性、提案性の高い〈コンテンツポラリークラフト〉と、実用性、市場性の高い〈ファクトリークラフト〉という2つの基準を導入し、大きく生まれ変わった。クラフトの領域を定義することで、新しい「高岡クラフト」の概念の提示を目指す。



ファクトリークラフトグランプリ作品「one pushケース“押型シリーズ”」

ファクトリークラフトのグランプリは、丹野雅景さんの「押型シリーズ」が受賞。4年前から始まった富山大学芸術文化学部と高岡伝統産業青年会との共同制作作品が、マテリアル賞を受賞した。

クラフト展も新しい試みとして、12月30日から1月16日まで開催され、年末年始の買い物客や「高岡なべ祭り」の来場者など、新しいファンを取り込んだ。



[問] 高岡商工会議所 TEL.0766-23-5000
ホームページ <http://www.ccis-toyama.or.jp/takaoka/craft/>

2010クラフト展（大和高岡店）